

147 ニュウナイスズメ (スズメ目)

Passer cinnamomeus

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:注 越冬個体群:一 通過個体群:一

環境省ランク:

種の概要

アフガニスタンからヒマラヤ、南アジア北東部、インドシナ半島北部、中国南・東部、朝鮮半島、サハリン、千島列島、日本などで繁殖し、北方のものは繁殖後に温帯域に渡り、越冬する。日本では主に本州北部以北で繁殖し、本州中部以南で越冬する。落葉広葉樹林や疎林、農耕地、ヨシ原などに生息する。秋から冬にはイネ科植物の種子などをよく採食するが、繁殖期は昆虫やクモなどを採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州北部、飛島、本州中部、粟島、佐渡、舩倉島、本州南西部、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、五島列島、甌島列島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島



写真提供：北野光良 (性別：オス)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★明石市、洲本市、★伊丹市、相生市、★豊岡市、宝塚市、三木市、川西市、小野市、★三田市、加西市、★丹波篠山市、★養父市、南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、多可町、稲美町、★神河町、★上郡町、★佐用町、★香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性の 低下	特殊 競争圧	特殊 捕食圧	特殊 繁殖環境	特殊 採餌環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少



写真提供：北野光良 (性別：メス)

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク外から要注目ランクに変更。
県内では主に11-翌4月に生息する。県南部の農耕地や林縁でよく観察されている。1987年1月三木市200羽、1994年10月たつの市400羽、2006年4月神戸市100羽、2022年4月神戸市150羽など、比較的大きな越冬個体群の渡来も少なくない。しかし、2014年5月に香美町鉢伏高原で繁殖が確認され、2017・18年にも繁殖活動が観察されていることから、今後の動向に注目する必要があるため、繁殖個体群について要注目ランクとした。

保護上の留意点

既知の繁殖地の自然環境を極力保全することが重要。